

# 日出彦の歳時私記

## 1. みゆきさん考

Dokugakuといえばミスチルフアン誌という傾向もみえるのですが、Wikipediaにも載っているミスチルですからまあやむなしとも思いつつ、中島みゆきもまたWikipediaの一枚看板ですので、本誌では少数派ではありますが、勧誘的な雑文をまとめてみようと思います。

さて、自分のことから始めると、小生が隠れキリシタンならぬ、隠れみゆきファンから脱皮したのは1999年夏に芝高輪プリンスホテルで開催された「なみふく祭り」に東豊坊から飛び降りるつもりで参加してみたらです。もちろん本人に会えるわけではなく、写真やパネルやグッズを眺めるだけでしたが、パラダイスカフェというコーヒーショップが作られていて、コーヒーを飲んだのを思い出します。それまでの自分は普通のファンで、カセットを買い集めていました。「なみろぐ」なんてCD ROMも買いましたよ。やがて、パソコン通信を通じて「でじなみ」のメンバーになってからのめりこんで行きました。祭りの時点で足掛け20年程度の潜在的ファンだったといえるのでしょうか？



これは「狼になりたい」画面ですね。このでじなみにはファン誌「なみふく」のバックナンバーがアップされていて、謎の多いファン誌の一端を垣間見ることができます。

中島みゆきのことをファンは親しみを込めて「みゆきさん」、「みゆき様」と呼びますので、以下「みゆきさん」でいきますね。公式ファンクラブは「なみふく」といい、不定期ですが年数回機関紙が発行されます。なみふくはなかじまみゆきふぁんくらぶを縮めたものです。なみふく会員になるにはyah (Yamaha Artist s Hearth)の会員になる必要があります、その中で、なみふくの会員になるという手続きを踏みます。

なみふく会員になった直後は、中年で所帯持ちファンですから、どうしても「みゆきさん」と呼ぶのを躊躇してしまうところがありました。しかし、人間、還暦に至るとズーズーしくなるというテーゼを実証

「でじなみ」は中島みゆきオフィシャルサイト (<http://www.miyuki.jp>)です。誰でも見られる左の画面が出てきます。ファンサイトはBiglobeの会員で有料登録する必要があり、この画面でIDとパスワードを入れると下のようなみゆきさんまんの画面に切り替わります。



するがごとく、大学に移ってから個室を貰ったのを期に、自分は「中島みゆき」研究室で行くことに決めてしまいました。実は他の先生方も自己主張が強く、熱帯魚をどっさり飼っている先生、戦闘機のパネルと模型で飾り立てている先生、バーみたいに世界の酒を飾っている先生など趣味を通り越して何の研究室か分からない状態の研究室をお持ちなので、全く目立たずに済んでいます。ささやかではありますが、いまや、研究室にはみゆきグッズが散らばっており、卒研学生への配属案内でも「中島みゆきが好きなお学生こそ当研究室の所属にふさわしい」と明言するに至っています。小生にとって学生が好む歌はちんぷんかんぷんでどこがよいのか分かりませんが、学生の方はプロジェクトXの地上の星や Dr.コトーの銀の龍の背に乗ってあたりで小生と波長を合わせて、カラオケボックスで点を稼ぐといった具合です。



機関紙「なみふく」はヤマハの定期機関紙に綴じこまれたり、別送されたりしてやってきます。これはNHKの紅白に特別出演したときの「なみふく」の表紙です。実物はB5版の大きさで、数ページの小冊子です。みゆきさんの日記様のエッセイが冒頭を飾ることが多いです。でも、でじなみで創刊時のなみふくを読むと、みゆきさんエッセイは毎回寄せられるのではなかったようです。お便りを貰ったときの編集子の喜び様が人間性いっぱい記録されています。

このほか、近況や公演スケジュールなどが載っていますが、でじなみのニュースですでに分かっている内容が多い最近です。

最近はさらに、でじなみの他に google アラートで中島みゆき検索をしているのと、BIGLOBE のウェブ SNS のみゆき様クラブメンバーになりました。後者は5人しかメンバーがいなくて、それも高齢者の集りみたいです。まだ入ったばかりなので、いずれその実態が分かり次第レポートしましょう。

ところで、以前でじなみでみゆきソングのファン投票をしたのですが、投票ランキングと自分の好みあまり合わないのです。小生は狼になりたいとか野うさぎのようになどが好きなのですが、多くのファンの好みとは違うようなのが残念です。サーモンダンスはあったかな？ 今年はコンサートツアーが行われるので、目下 yah では「コンサートで聞きたい中島みゆきの歌」を大募集しています。



と、書いていたところになみふく VOL.80 が届きました。その表紙をお目に掛けて終わらしましょう。今号のおことばは「うたがわしき春でござるよ」でした。多分、著作権があるので全文は載せられませんが、主題はみゆきさんの家の近くに花見の名所があり、最近ひたくりが出没するようになったことを嘆いているものです。

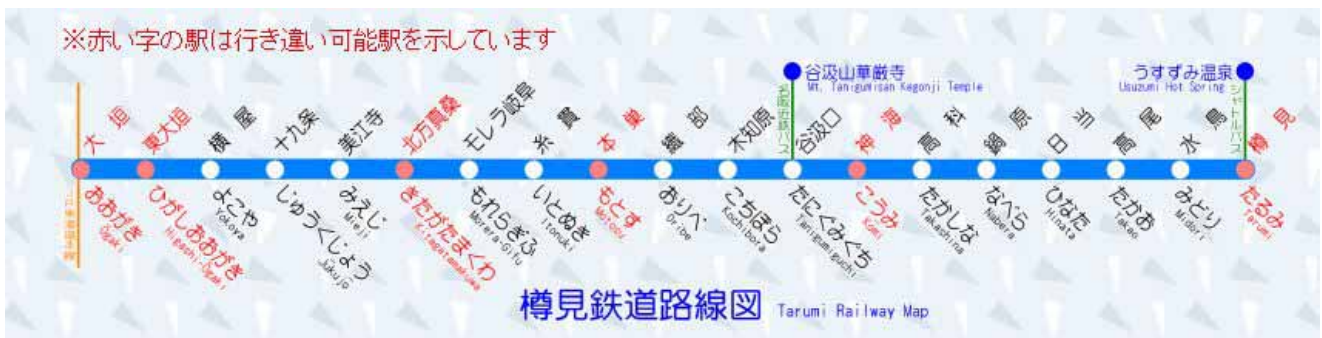
## 2. 花見特集「淡墨桜」

去年から仕事で名古屋へ行くことが多くなり、特に今年からは毎月が増えたため、ほとんどの場所は観光してしまいました。今回は4月の初めだったので、花見を計画し、名古屋近傍の名所を調べたところ岐阜県にいろいろあるのを知りました。今回は岐阜市で「道三まつり」というのをやっている時期だったので、それと合わせて大垣からのローカル線で終点樽見駅近くに



ある「淡墨桜(うすずみざくら)」を見に行くことにしました。そんな訳で、岐阜に一時泊りましたが、道三まつりはまた別の機会にして、淡墨桜の見聞記をまとめてみます。

岐阜駅を9時20分のJR東海道線快速下りに乗り10分ほどで大垣に着きました。駅ビルと隣接してはいますが、大垣駅はローカル色の強いところでした。樽見鉄道は元JR樽見線で今は第3セクターで運営しているとのことですが、大垣駅の自動改札機の一番隅っこでしか切符を買えません。樽見まで往復で1800円は一寸高いです。JRの改札から入って一番隅っこのホームの片方が樽見線で6-7番線が一緒です。(昔の東神奈川駅の横浜線ホームに似ています。)ホームの反対側は5番線でJR東海の列車用です。時刻表は4月1日~15日まで淡墨桜目的の臨時ダイヤです。目の前で10:07発が出てしまったので、次の11:05までホームで待つことになりました。といっても大混雑で10:07発は到底乗れませんでしたけれど。ホームで1時間、車内で1時間なので来年行ってみようという人には事前に水を摂取しないことをお勧めです。列車は2両連結の気動車で微妙な振動が伝わり、足の裏をあんまして貰っている感じです。小生は幸いに往きは座れてウトウトと眠って行きました。隣は中国人の若者グループで騒がしかったですが。



元々は住友大阪セメントのセメント輸送列車で成り立っていた路線だそうですが、コストダウンで使われなくなり、遂に2006年からすべての貨物輸送が廃止されて、先行きは暗い様です。通常は単線片道換算で1日34本の運行が、春季ダイヤで36本に増発!です。2006年にモレラ岐阜という大規模ショッピングセンターが開業したので、大垣 - 本巣間は1時間に1本ペースで折り返していますが、本巣 - 樽見間は歯抜けになり半分強しか運行しません。

さて、樽見駅から淡墨桜のあるうすずみ公園までは15分程の田舎道歩きですが、道に並んで流れていた根尾川を左に渡ると、くねった山道を上ることになります。息を切らして漸く上り詰めれば、目の前がパッと開けた公園が現われます。



これが「レールバス」という気動車で、小生が乗った車両はモレナとあるので多分新型車両ではないでしょうか



樽見駅前のねじれモニュメント



根尾川を渡る橋の上から白山を望む



これは明治 24 年 10 月 28 日にこの地方を襲った濃尾地震の慰霊碑で、マグニチュード 8 といえます。死者 7 千人強の岐阜、名古屋などで大きな被害が出たそうです。震源は根尾谷とか。

そこはもう花見客が一杯で、淡墨桜の前の広場を子供たちが走り回っていました。主役の桜は何と千五百年もの樹齢で、高さ 17 メートルの巨木であり、継体天皇（例の謎の天皇です！）の手植えと伝承されているそうです。この僅か 1 本の桜に約 2 週間花見客が多数集まる訳です。



淡墨桜の全景



公園で花見を楽しむ人たち



いわなの塩焼きで乾杯！

日本三大桜の一つで、国の天然記念物といえます。昭和 23 年に枯死寸前になり、根継ぎという回生術で蘇ったそうです。何と 238 本の若木の根を用いたといえます。多数の命がインプットされたわけで、人間だと輸血か臓器移植？ それはさておき、小生も花見を堪能しました。

しかし、帰りもまた満員列車で、今度は座れなかったためすっかり疲れました。途中、水鳥（みどり）の活断層や谷汲口（たにくみぐち）の桜など見所はまだまだ多いのですが、もう体がいうことを聞かず、一路名古屋のホテルを目指したのであります。

### 3. Mini V&C リスト

#### 3.1 アンフェア the movie

テレビ版アンフェアを DVD でみたが、毎回意外な結末で次に続く形式で を進呈してもよいと思った。篠原涼子扮する「雪平夏見」という刑事はひねくれたキャラクタだが、回を追うごとに魅力的になり、相棒の安藤（瑛太）も良い味を出していた。これはその延長の映画版で封切りから数日後であったが、珍しく満員の盛況であった。「アンフェアなのは誰か？ 復讐には復讐を！ アンフェアにはアンフェア



を！」というキャッチコピーもそのまま踏襲している。映画はそれなりに面白かった。しかし、テレビ版ほど面白くはなかった。なぜなら、「踊る大走査線」的展開になっていて、アンフェアな部分が薄まっていたからだ。バイオハザードを絡ませたのはマイナスである。雪平もただ走ってばかりいて、頭腦的なところが少ない。映画のコピーは「最後の事件」であったが、エンディング近くのシーンではまだ続きが作れる余地を残している。



### 3.2 不都合な真実 (An inconvenient truth)

これは元大統領候補(自身のjokeになっていた!)のアル・ゴア氏による地球温暖化危機の警鐘講演をベースに、環境破壊の実写フィルムを数多く挿入したドキュメンタリー映画である。96分は劇場映画としては短い方だが、大学の授業時間とほぼ近いので、環境の授業教材として使えそう。内容は、観客の心に訴えてくる大変よい映画であった。普通、エンドクレジットが出るとまだ暗い場内を退出して行く観客がいるものだが、このときばかりは場内が明るくなっても5分位誰も席を立つ人がいなかった。環境に関心をもつ人には是非観て欲しい映画である。ゴア氏の講演英語はゆっくりで分かりやすく、英会話の勉強にもなる!

## 4. ピクチャーマンホール

ピクチャーマンホールの真髄はカラーピクチャーマンホールです。観光目的なのか、自治体が街路の一部のピクチャーマンホールに彩色したものです。通常は駅前とか観光スポットとかの舗道にあります。前回にも書きましたように、ピクチャーマンホールはおすい(汚水)、うすい(雨水)および消火栓で見当たりません。消火栓は災害時に発見しやすくするためか、ほとんどがカラーピクチャーマンホール(CPMと省略しましょう)です。前回、シンメトリックな図案はPMとはしないと書きましたが、その後、少し緩めて、マンホールの蓋の下に流れている汚さを払拭しようとする努力のあるものは仲間に入れることにしました。従って、東京都のマンホールもPMの仲間に入れてあげました。

小生の手持ちのPMまたはCPMは目下、次の通りです。

明石、旭川、厚木、厚岸、綾瀬(神奈川県)、出水、今井、上田、上野原、小樽、金沢、鎌倉、京都、岐阜、釧路、神戸、相模一ノ宮、相模原、島田、善光寺、高松、竹島、東京都、戸隠、豊川、豊橋、名古屋、沼津、根室、東伊豆町(頂き物)、姫路、富良野、町田、横浜、和歌山。



次のものは何処だったか分からなくなったものです。お分かりの方、教えてください。なお、今号からPowerpointで整理することにしたので、よろしくお願いします。